

I 災害の概況と対策

1 概況

2 災害対策の促進

I 災害の概況と対策

1 概況

平成28年は5月から7月にかけての梅雨前線豪雨，9月の台風12号，16号など，19回の異常気象により災害が発生した。

国土交通省所管公共土木施設災害の査定決定額は，県工事で463箇所9,005,391千円，市町村工事で437箇所5,177,366千円，合計で900箇所14,182,757千円であった。

異常気象別では，9月19日から9月20日にかけての台風16号が最も大きく528件，11,058,438千円で全体査定額の約78%であった。

次が，6月19日から7月1日にかけての梅雨前線豪雨で，1,428,221千円（10.07%），7月7日から7月14日にかけての梅雨前線豪雨で，1,002,146千円（7.07%）であった。

この3つの異常気象の査定決定額合計が，全体の95%を占めた。

「6月6日から7月15日までの豪雨(梅雨前線豪雨)，9月17日から9月21日までの暴風雨及び豪雨(台風第16号)」による災害については，局地激甚災害に指定され，1市1村が特別の財政援助を受けた。

指定された市町村は次のとおり

局激	H28/ 6/ 6	～	7/15	十島村
	H28/ 9/17	～	9/21	垂水市

2 災害対策の促進

(1) 災害復旧事業

災害復旧事業は，3ヵ年で全箇所の復旧工事を完了するように予算措置が講じられるものであり，平成28年度復旧進捗は決定箇所数において82.6%の743箇所が完成した。

(2) 河川等災害関連事業

災害復旧に当たり，改良費を加え未災箇所も含めて改良復旧を行うことにより事業の効果をより大きくするための事業である。

平成28年は，6月27日から7月1日までの豪雨(梅雨前線豪雨)，9月19日から9月20日までの暴風雨(台風第16号)」による災害で3市の橋梁事業が採択された。

採択された市は次のとおり。

災害関連事業

H28/ 6/27	～	7/ 1	日置市
H28/ 9/17	～	9/21	鹿屋市，垂水市